

# 令和5年度 筑前町立中牟田小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》主体的に課題を追求し、根拠をもとに論理的に考え表現できる児童の育成

〈成果指標〉令和8年度の全国調査の標準化得点：国語100以上 算数100以上

《短期目標》習得した知識や技能を使って、課題を解決する子どもの育成

〈成果指標〉令和6年度全国学力・学習状況調査【小6、中3】において、（県標準化得点〈県比〉国語90 算数95以上）、（四分位層C・D層の割合の合計〈県比〉国語-10 算数+8 以下）

## ■視点5

### 【家庭・関係機関との連携】

#### 〈取組（指標）〉

- ⑤夜須校区家庭学習強化週間推進
- ※家庭学習の手引きの配布、周知
- ⑤家庭学習の習慣化
- ※自学のモデルの提示や内容の選択
- ※学年×10分の徹底
- ※自分で計画立てた家庭学習
- ※チェック表の活用

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童アンケート「宿題やとことん週間で、自分で計画を立てて学習をしている」(3.0以上:4段階評定)

## ■視点2

### 〔文章を書く力の育成〕

#### 〈取組（指標）〉

- ②主張や根拠（関連づけ、情報の活用）を明確にして書いたり、文字数や使う言葉などの条件を加えたりする場を授業の中で設定する。また友達と交流することによって自分の考えの再構築する活動の実施。（実施率80%）
- ④前時の学習や本時の見通しを活用しながら（根拠をもって）自分の考えをまとめて書く指導を実施する。（実施率80%）

#### 〈成果（指標）〉児童アンケート

- ◆「考えを書くときにそう考えたわけも書いている」(3.0以上:4段階評定尺度)
- ◆「振り返りで、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめている。」(3.0以上:4段階評定尺度)

### 〔資料やデータから読み取る力の育成〕

#### 〈取組（指標）〉

- ③週に1回、資料やデータから分かることを読み取ったり、交流する場を設定する。（実施率80%）

#### 〈成果（指標）〉児童アンケート

- ◆「友達が発表しているときに自分の考えとくらべながら聞いている」(3.0以上:4段階評定尺度)

### 【授業づくり】

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

#### 〈取組（指標）〉

- ⑥県学力調査及び全国学力テストを活用した校内研修の実施（年1回）
- ⑥児童による授業評価（各学期1回ずつ）
- ⑥小中合同研修会の実施（学区区合同研修会1回 学力向上推進協議会2回）
- ⑥中牟田スタイルの定着（校内研）
- ⑥学力低位層の児童の支援についての合同研修会

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童アンケート 児童による授業評価の評定平均(3.0以上:4段階評定尺度)
- ◆教員アンケート 授業チェックリストの評定平均(3.0以上:4段階評定尺度)

## ■視点3

### 【学力基盤づくり】

〈取組（指標）〉①「レディネステスト」「プレテスト」を単元前の実施し、実態の把握。（実施率80%）

- ⑥⑧授業前に学年の教員同士で書く活動の設定確認及び評価項目設定
- ①⑤児童による自己分析による課題把握と目標設定(全国学力調査・県学力調査・CRT調査・標準学力調査)
- ①⑤⑥各層に応じた「学びタイム(1~5年)」「スキルアップタイム(6年)」の定期的実施。

〈成果（指標）〉◆児童へのアンケート(「にがてな学習もあきらめない」3.0以上:4段階評定尺度)

- ◆算数・国語 単元テスト(80/100点到達児童 80%以上)

## ■視点1-①

県学力調査、全国学力調査及び「授業評価アンケート」、「授業チェックリスト」等から見た「課題」

授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

四分位層の県との差、標準化得点	国語					算数				
	A層	B層	C層	D層	標準化得点	A層	B層	C層	D層	標準化得点
R4県調査	-14	-15.5	+10.6	+18.9	77.4	-14.2	-0.2	-6	+20.4	81.8
R5全国調査										
課題	・国語も算数も県に比べD層の割合が大きい。 ・「手紙を書く」の第4学年配当漢字を読むことができるが、-64.5→「便り(たより)」を読むことができず、(べんり)などと間違いがあった。 ・乗法や除法の式が、-31.2で、小数÷整数が-21.5と数と計算領域に課題がある。									
質問紙調査等	・全国学調質問紙「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」(役に立つ:全国比-12.9%) ・全国学調質問紙「家で自分で計画を立てて勉強していますか」(よくしている:-13.5%) ・授業評価アンケート「振り返って、分かったこと、次にやりたいことを書く」(3.14:4段階評定尺度)									
	①各層に応じた学習問題の練習の場の不足 ②条件に合わせて書く学習の場の不足 ③資料やデータから分かることを読み取る学習の場の不足 ④学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりする活動の場の不足 ⑤自分で計画を立てて勉強する経験の不足 ⑥本校児童の学力の課題の把握・改善 ⑦読書活動の減少 ⑧学年間での授業について話し合う場の減少									